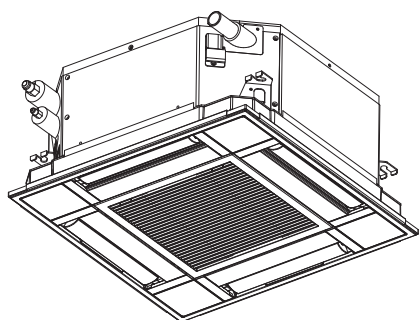


三菱電機ビル空調マルチエアコン

室内ユニット

冷媒R410A対応

取扱説明書



PLFY-P·DMG9



PKFY-P·LMG9



形名

PLFY-P·DMG9

PKFY-P·LMG9

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2
各部のなまえ	4

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた	9
応急運転のしかた	11
自動運転、換気運転のしかた	12
その他の表示・点滅について	13
タイマー、スケジュール、省エネ運転のしかた	14
タイマー運転のしかた	15
もっと知りたいとき	16
上手な使い方	17

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな?」と思ったら	18
お手入れのしかた	20
長期間ご使用にならないとき	21
移設・工事について	22
保証とアフターサービス	23
ご相談窓口	24
仕様	27

このたびは三菱電機製品をお買いもとめいただきまして、
まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は「据付工事説明書」と共に大切に保管してください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書及び保証書をお渡しください。
- お客様ご自身では据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。








This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

● お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。	 禁止	 アース線接続
 注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷又は家屋・家財などの損害に結びつくもの。	 指示を守る	 水濡れ禁止
		 濡れ手禁止	

警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。



禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。



濡れ手禁止

お客様ご自身で分解・改造・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気へ放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。



分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子様にご注意！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



禁止

エアコン及びリモコンを水洗いしない

ユニット及びリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電や発火の原因になります。



水濡れ禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。



電源を切る

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買上げの販売店にご相談ください。



換気

清掃及びメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファン及びファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

お子様など、補助が必要な方が単独でエアコンを使用しない

ケガなどの原因になります。適切な方の管理のもとでご使用ください。



禁止

パネルやガードをとりはずさない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。点検時以外は絶対にはずさないでください。



分解禁止

注意

粉が浮遊する作業場などでは使用しない

粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。又は健康を損なう原因にもなります。



禁止

直接風にあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターをはずしたときにケガの原因になります。



禁止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度78%以上）時の長時間運転及びほこりなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。



設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。品質低下の原因になります。



使用禁止

直接風にあたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。



設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。



使用禁止

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。



使用禁止

フィルターなどの着脱、手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ほこりが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。



保護具着用

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。



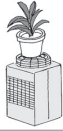
換気

安全のために必ずお守りください

注意

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

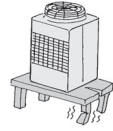
落下・転倒によるケガの原因になります。



禁止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

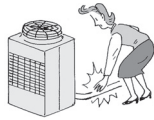
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。



禁止

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食・変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。



エアコン停止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。



電源を切る

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品及び薬品から発生したガスを十分排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食・変形の原因になります。



換気・送風運転

エアコンの下方に食品や食器を置かない

ほこり・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。



禁止

据付時 次の項目をご確認ください。

警告

据付けや移設などの場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。



禁止

当社指定の冷媒（R410A）以外は絶対に封入しない。

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。



禁止

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据え付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。



設置禁止

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。



専用回路

漏電遮断機を取り付ける

取り付けしていないと、感電の原因になります。



漏電遮断機

使用される別売部品やフィルターは当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客様ご自身で取り付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。



別売部品

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。



設置場所

据付けは、お買上げの販売店又は専門業者にご依頼ください（安全や機能の確保ができません）



据付け

元電源の取付位置を確認する



元電源

注意

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。



排水

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース工事

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万一冷媒が漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いので、部屋の中では床面にたまりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。

その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輻・船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなどの火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

安全のために必ずお守りください

● お使いになる前に 各部のなまえ

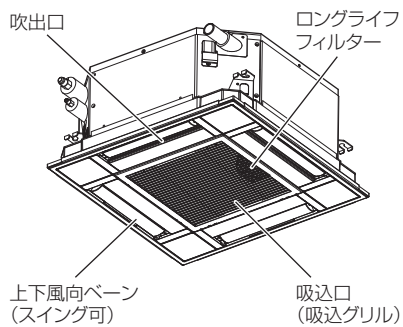
室内ユニット

		PLFY-DM形	PKFY-LM形
風速		3速	4速(自動可)
上下風向調節	自動	○(4段階)	○(5段階)
	スイング機能	○	○
左右風向調節		—	手動
ロングライフフィルター		○	—
フィルタークリーニングサイン積算時間		2500時間	100時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種No.	冷暖同時タイプ	002	001
	冷暖切替タイプ	226	225

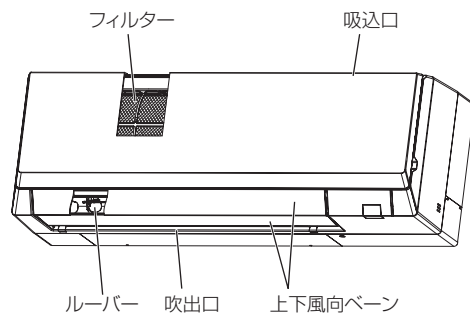
注) ワイヤレスリモコンを使用する場合は、ワイヤレスリモコン側の機種設定を行ってください。

- ・室内ユニット形名と組合せ室外ユニットタイプ(冷暖同時タイプ/冷暖切替タイプ)を確認し、上記表の機種No.を設定してください。
- ・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

PLFY-DM形 4方向天井カセット形



PKFY-LM形 壁掛形



● お使いになる前に 各部のなまえ

MAスマートリモコン（別売部品）

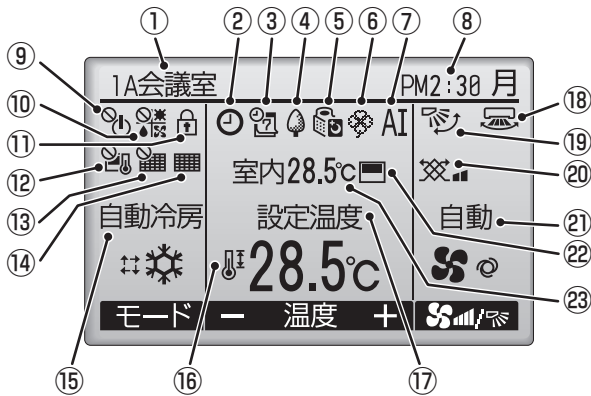
室内ユニットによっては機能に対応していない場合があります。

表示部

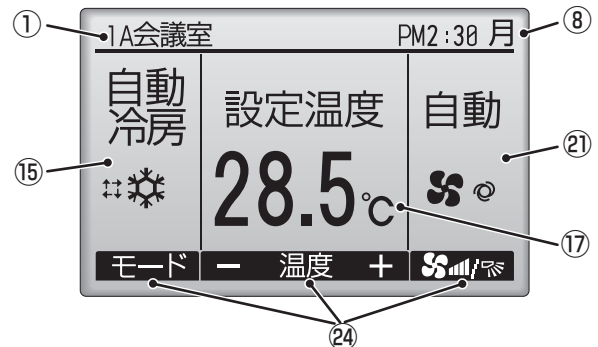
■操作部、表示部はMAスマートリモコンに記載しています。（説明のため全ての表示内容を示しています。）

■表示部は「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面（メイン画面）



簡易画面（メイン画面）

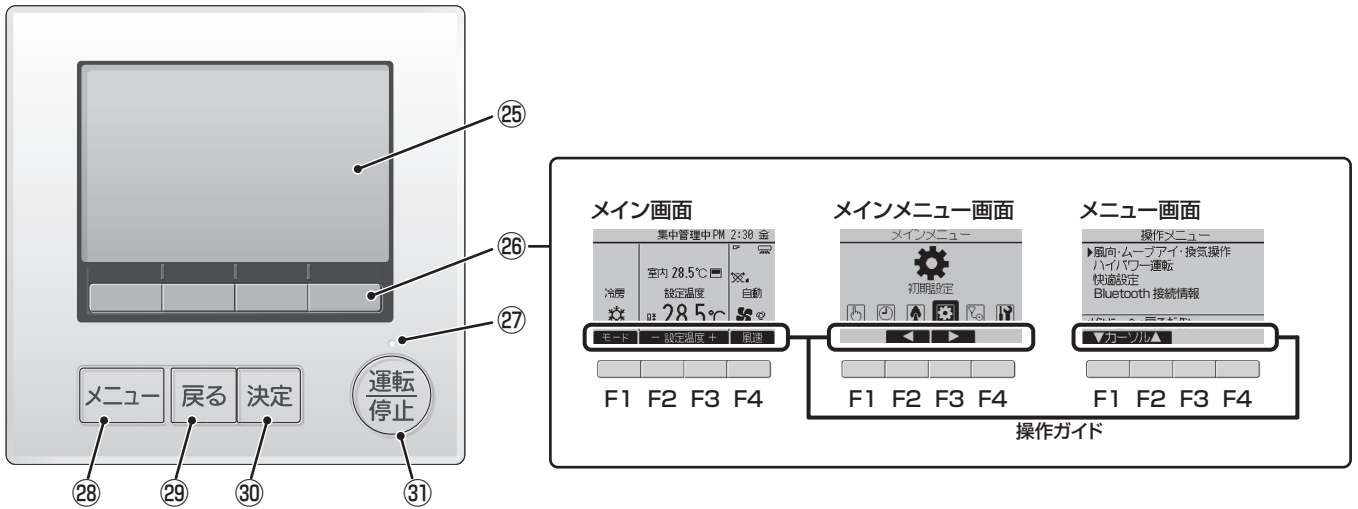


各部のなまえ

番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン/オフタイマー又は消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。
③		週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイmirA.I.有効中に表示します。
		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑪		操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑫		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑬		フィルターサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑭		フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱		設定したルーバーの状態を表示します。
⑲		設定した風向の状態を表示します。
⑳		設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒		室内温度を検知するセンサー位置がリモコンのときに表示します。 室内ユニットのときは を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉔	ファンクションボタン 操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。

● お使いになる前に 各部のなまえ

操作部



各部のなまえ

番号	表示/名称	説明
②⑤	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
②⑥	ファンクションボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドに従って操作してください。
	F1ボタン	メイン画面：運転モードを切り換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F2ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F3ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	F4ボタン	メイン画面：風速を切り換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
②⑦	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
②⑧	メニューボタン	メインメニューを表示します。
②⑨	戻るボタン	前の画面に戻ります。
③⑩	決定ボタン	設定の決定をします。
③⑪	運転/停止ボタン	1度押すと運転し、もう一度押すと停止します。

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。
(運転/停止ボタンは除く)

■基本運転(運転/停止、運転モード切替、風速調節、温度調節)以外はメニュー画面からの設定となります。

お願い

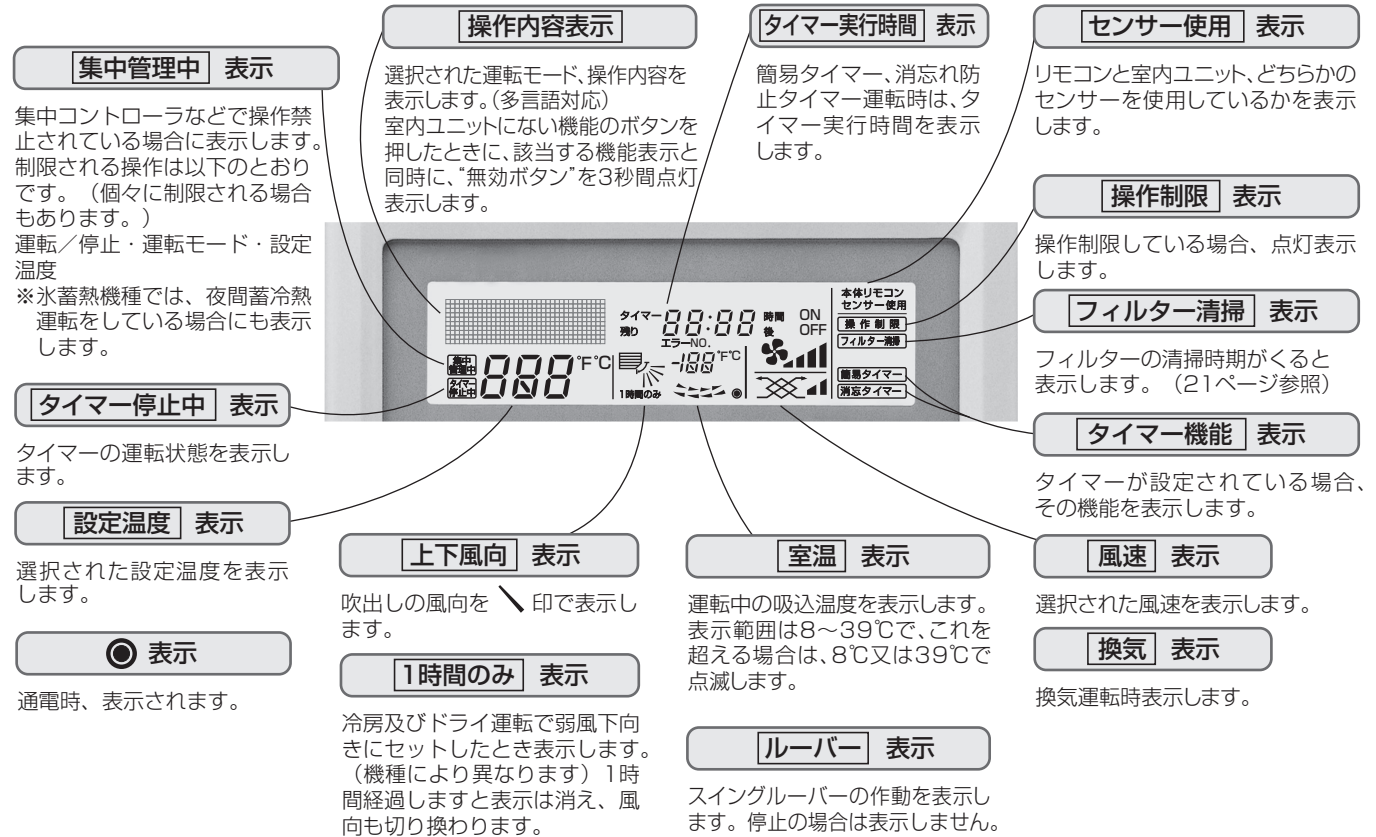
■付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、又は直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所にはリモコンを取り付けないでください。

● お使いになる前に 各部のなまえ

■ MAスムーズリモコン

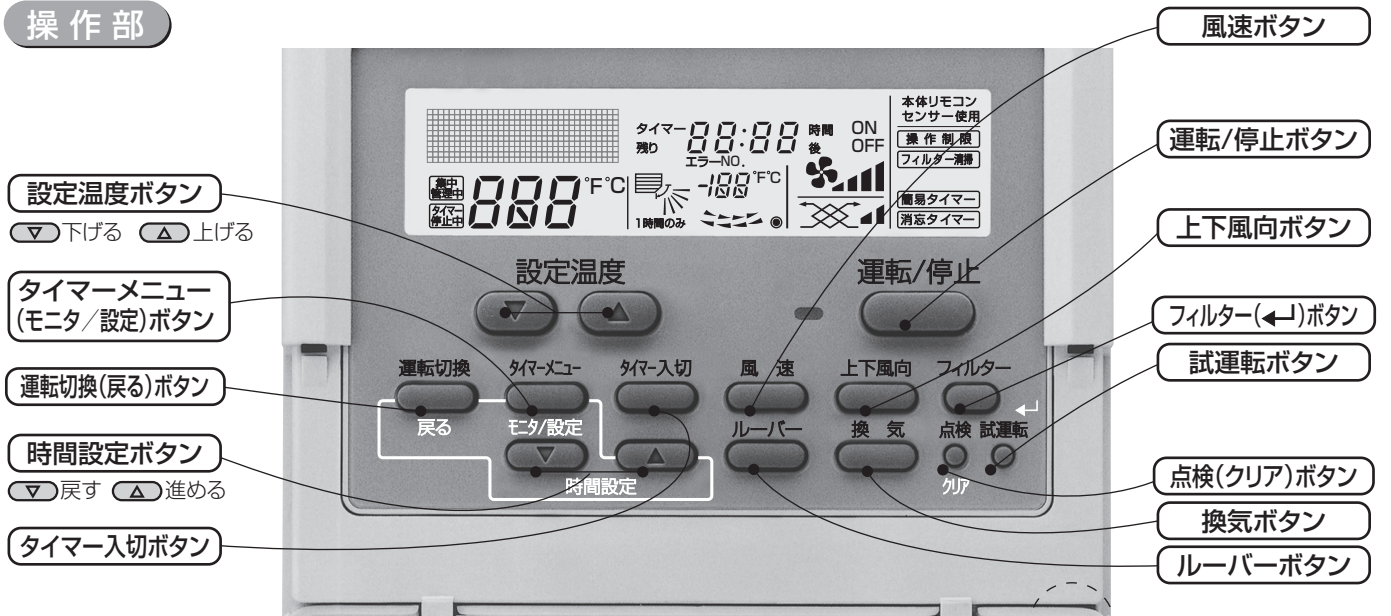
表示部

■操作部、表示部はMAスムーズリモコンに記載しています。(説明のためすべての表示内容を示しています。)



各部のなまえ

操作部



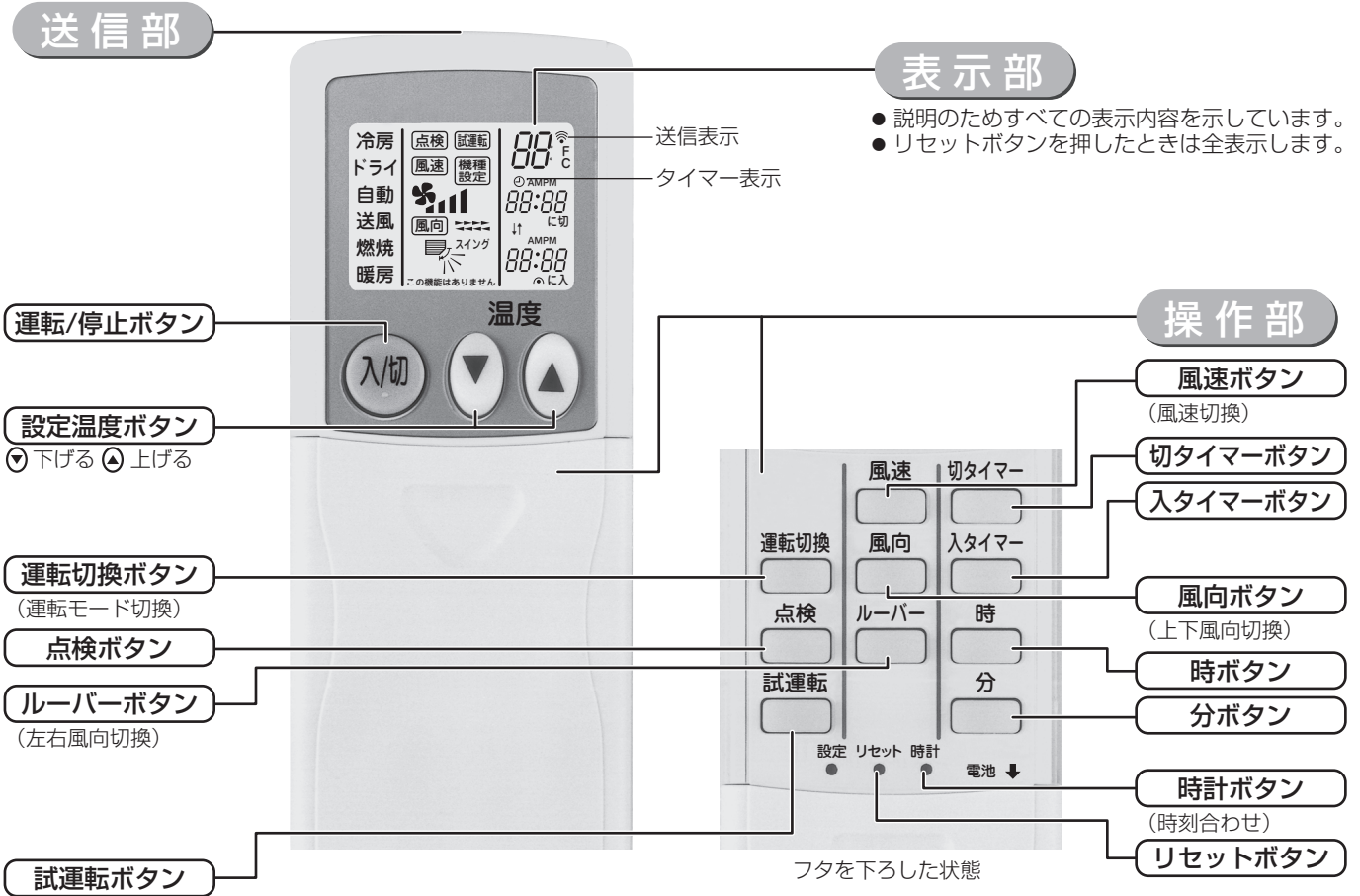
- “PLEASE WAIT”表示(初期設定中)
電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。
- 運転モードの点滅表示
同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
- “無効ボタン”表示
複数台の室内ユニットを同一のリモコンで操作している場合は、代表室内ユニット(親機)に装備していない機能を操作した場合は表示されます。
- 室温表示
本体の室温センサーを使用時で複数台の室内ユニットを操作されている場合のリモコンへの表示は、代表室内ユニット(親機)の内容が表示されます。室温センサー位置は、“本体”と“リモコン”が選択でき、初期設定は、“本体”となっています。

室温センサー内蔵位置

● お使いになる前に 各部のなまえ

■ ワイヤレスリモコン

各部のなまえ



表示部

- 説明のためすべての表示内容を示しています。
- リセットボタンを押したときは全表示します。

操作部

- 運転/停止ボタン
- 設定温度ボタン
▼ 下げる ▲ 上げる
- 運転切換ボタン
(運転モード切換)
- 点検ボタン
- ルーバーボタン
(左右風向切換)
- 試運転ボタン

- 風速ボタン
(風速切換)
- 切タイマーボタン
- 入タイマーボタン
- 風向ボタン
(上下風向切換)
- 時ボタン
- 分ボタン
- 時計ボタン
(時刻合わせ)
- リセットボタン

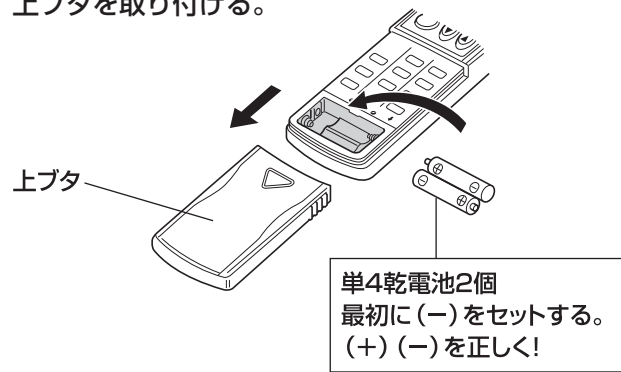
フタを下ろした状態

- リモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- 電源を入れてすぐにリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピッピッ”と発音音がすることがあります。初期自動点検中ですので約2分間お待ちください。
- リモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
- 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へご連絡ください。

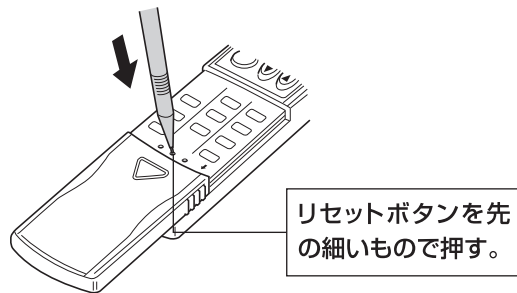
- リモコンの取扱いは大切に！ 落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
- 紛失防止のためにリモコンホルダー（リモコンに付属）を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

電池を入れる／交換の方法

- 1 上ブタを引き抜き、単4乾電池2個を入れて上ブタを取り付ける。

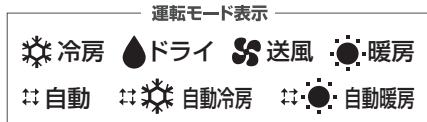
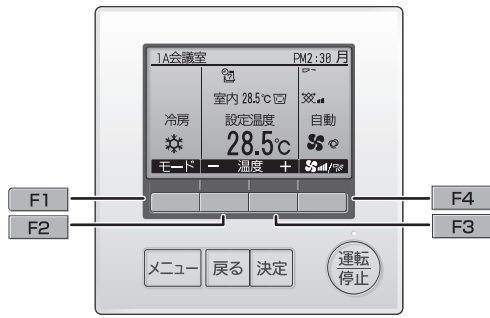


- 2 リセットボタンを押す。

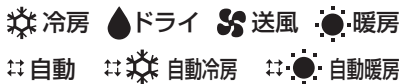


● 運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事、また外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。



運転モード表示



運転の開始、運転モードを選ぶとき

MAスマートリモコンの場合

- 運転停止 ボタンを押す。
運転ランプと表示が点灯します。
- F1** ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切り換わります。



- ※1 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- ※2 室外ユニットの機種により自動、暖房機能がない場合があります。リモコンの機能選択で自動モード使用無し設定の場合は表示されません。詳しくは、MAスマートリモコンの据付工事説明書(設定編)をご覧ください。
- ※3 冷房専用設定とした場合は、暖房の表示はされません。設定もできません。

ワイヤレスリモコンの場合

- 入/切 ボタンを押す。
表示が点灯します。
- 運転切換 ボタンを押す。

お知らせ

■ 冷暖切換機種の場合、冷房運転後に暖房運転すると同一系統の停止している室内ユニット※が結露する場合があります。その時は、同一系統の全ての室内ユニットを暖房運転又は送風運転させた後でご使用ください。
※4方向カセット形(PLFY-P・DMG9形)

お願い

■ リモコンを先のとがった物で押さないでください。故障の原因になります。



設定温度を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

- 室温を下げたいとき **F2** ボタンを押す。
- 室温を上げたいとき **F3** ボタンを押す。

- 1回押すごとに設定温度をMAスマートリモコンの場合は0.5℃、ワイヤレスリモコンの場合は1℃単位で変えられます。MAスマートリモコンでは設定温度単位を変更することが可能です。くわしくはMAスマートリモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 設定温度範囲は右表のとおりです。

注) 接続室外機によって、表とは設定温度範囲が異なることがあります。

また、設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。) 範囲を超えて設定しようとした場合、「設定温度制限中」が点滅表示され、制限中であることが表示されます。くわしくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスリモコンの場合

- 温度下ボタンを押す。
- 温度上ボタンを押す。

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風
19~30℃	17~28℃	19~28℃	設定できません

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

風速を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

F4 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切り換わります。

	風速	リモコン表示
PLFY-DM形	3段階	(弱) (中) (強)
PKFY-LM形	4段階 + 自動	(弱) (中2) (中1) (強) (自動※1)

ワイヤレスリモコンの場合

風速 ボタンを押す。

※1 ワイヤレスリモコンで風速自動にする場合は、リモコンの設定が必要になります。設定方法は下記の風速自動設定方法をご覧ください。

お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。

- “暖房準備中” ・ “暖房霜取中” 表示のとき
- 暖房運転直後(モード切換待機中)
- 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- ドライモードのとき

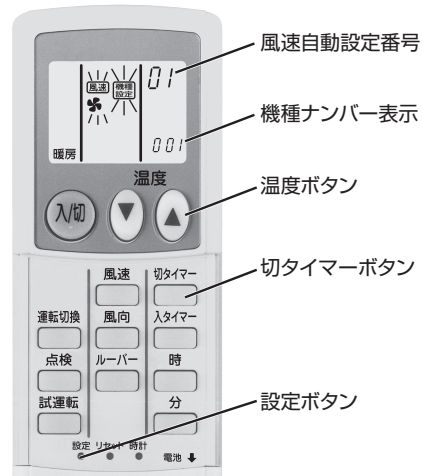
風速自動設定方法

ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、本設定を行うことにより風速自動が選択可能になります。(ワイヤードリモコンをご使用の場合には設定不要です。)

操作手順

- 1 設定ボタンを押します。(ボールペンなどの先の細いもので押してください。) リモコン表示が停止の状態から操作してください。
機種設定が点滅、機種ナンバー(3桁の数字)が点灯表示します。
- 2 切タイマー ボタンを押します。
風速 が点滅表示し、風速自動設定番号が点灯表示します。(設定番号01:風速自動なし)
- 3 ▲、▼ 温度ボタンを押して設定番号を02に合わせます。(設定番号02:風速自動有り)
注)操作を間違えた場合は、(入切) ボタンを押し、2 の操作からやり直してください。
- 4 設定ボタンを押します。(ボールペンなどの先の細いもので押してください。)

ワイヤレスリモコンの場合



上下風向を変えたいとき

MAスマートリモコンの場合

● **F4** ボタンの長押し(1秒以上)操作、又は本操作により風向操作画面を表示させ、上下風向を設定します。

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
メニュー 戻る 決定 運転停止
- 2 **決定** ボタンを押す。
主 メインメニュー 戻る 決定 運転停止
- 3 **決定** ボタンを押す。
操作メニュー 風向・換気操作 ハイパワー運転 快速設定 Bluetooth接続情報 メニューへ戻るボタン カラー/白 戻る 決定 運転停止
- 4 **F1** **F2** ボタンを押す。
会議室 PM2.5 弱 風向 換気 戻る 決定 運転停止

● 1回押すごとに設定が切り換わります。 注) 角度は風向の目安です。(ペーン角度ではありません。)

	リモコン表示
PLFY-DM形	設定1 設定2 設定3 設定4 スイング
PKFY-LM形	自動 設定1 設定2 設定3 設定4 設定5 スイング

ワイヤレスリモコンの場合

風向 ボタンを押す。

● 運転のしかた 運転モードの切替、室温・風速・風向調節のしかた

● 上下風向ベーンの運転・設定内容

運転モード	風速	設定					
暖房・送風	自動・強・中1・中2・弱	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	(設定5)
冷房	強		設定1	設定2	設定3	設定4	(設定5)
	自動・中1・中2・弱	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	(設定5)
ドライ	設定不可			※ 1 時間 設定 有効			
運転モードを変更した時の上下風向設定		冷房・ドライ・送風運転				暖房運転	

※ 1時間経過すると自動的に水平吹出し（設定1）にもどります。

上下ベーン変更時の上下風向ベーンの設定内容
(スイング設定のときは継続します)

- 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1
- 暖房モードにしたとき…設定4（設定5があるユニットは設定5）

お知らせ

- このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
 - “暖房準備中” ・ “暖房霜取中” 表示のとき
 - 暖房運転直後（モード切替待機中）
 - 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
- 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくときと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

【手動】左右風向を変えたいとき

注) ルーバーボタンは使用できません。

PKFY-LM形

- 運転を停止し、左右風向ベーンをお好みの向きに調節してください。



注意

フィルターなどの着脱、手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない。
落下・転倒によるケガの原因になります。

運転を停止するとき

MAスマートリモコンの場合

ワイヤレスリモコンの場合

運転停止 ボタンを押す。

入/切 ボタンを押す。

再運転時の運転内容(リモコン設定)

- 再運転時は下記リモコン設定内容となります。

		リモコン設定内容	
運転モード		前回の運転モード	
設定温度		前回の設定温度	
風速		前回の設定風速	
上下風向	運転モード	冷房・ドライ	水平吹出し
		暖房	前回の設定風向
		送風・換気	水平吹出し

お願い

- 運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因となることがあります。

● 運転のしかた 応急運転のしかた ワイヤレスリモコンが使えないとき

PKFY-LM形の場合、ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときには、室内ユニットの受光部付近の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。

運転を開始したいとき

- 冷房運転…… 冷房 ボタンを2秒以上押す。
- 暖房運転…… 暖房 ボタンを2秒以上押す。

注1) 運転表示ランプの点灯で運転開始をお知らせします。

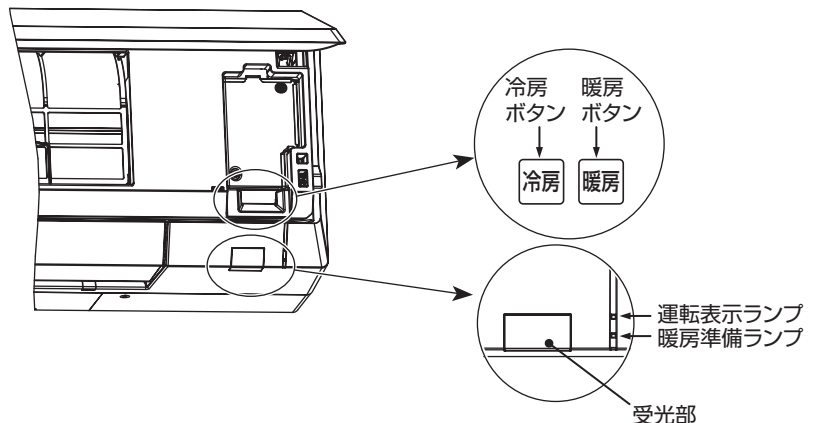
注2) 応急運転時の運転内容は下記になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
風向	設定1	設定4 ※1

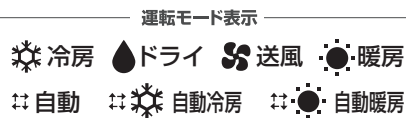
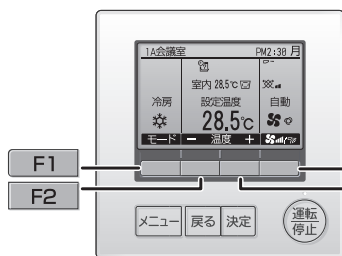
※ 1 設定5があるユニットは設定5。

運転を停止したいとき

- 冷房 ボタン又は 暖房 ボタンどちらかを押す。



応急運転のしかた
運転モードの切替、室温・風速・風向調節のしかた



自動運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

ワイヤレスリモコンの場合

1 運転停止 ボタンを押す。

2 F1 ボタンを押し、表示を自動にする。

入切 ボタンを押す。

運転切換 ボタンを押し、表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。
(13ページ参照)

注) 運転モードが確定した後に、現在の運転モード【自動冷房】、【自動暖房】が表示されます。
なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示: しない」に設定変更されている場合には、「冷房」、「暖房」は表示されません。(【自動】の表示のみ)
(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

換気運転を行うとき

MAスマートリモコンの場合

● 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき 運転停止 ボタンを押す。
室内ユニットを運転すると、自動的に換気装置も運転します。

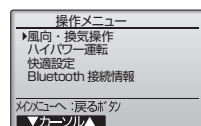
● 換気装置を単独で運転するとき

1 メニュー ボタンを押す。

2 決定 ボタンを押す。

3 決定 ボタンを押す。

4 F4 ボタンを押す。



● 換気運転の風速を変えたいとき F4 ボタンを押す。

お知らせ

■ 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

ワイヤレスリモコンの場合

- 換気装置が連動接続している場合、室内ユニットを運転すると、自動的に換気装置も運転します。
- リモコンには表示されません。
- 換気装置の単独運転はできません。

● 運転のしかた 自動運転、換気運転のしかた

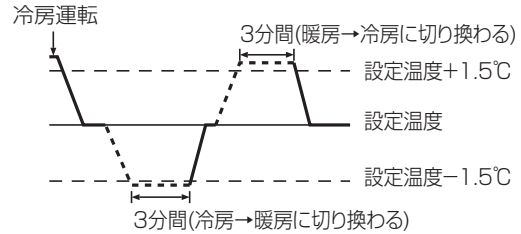
自動運転とは

自動運転には、シングルオートモードとデュアルオートモードがあります(リモコン表示は、両モードとも「自動」です)。
 ※室外ユニットや室内ユニットの機種により、自動機能がない場合があります。

●シングルオートモード

シングルオートモードでは、冷房・暖房の設定温度を共通設定とし、設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。

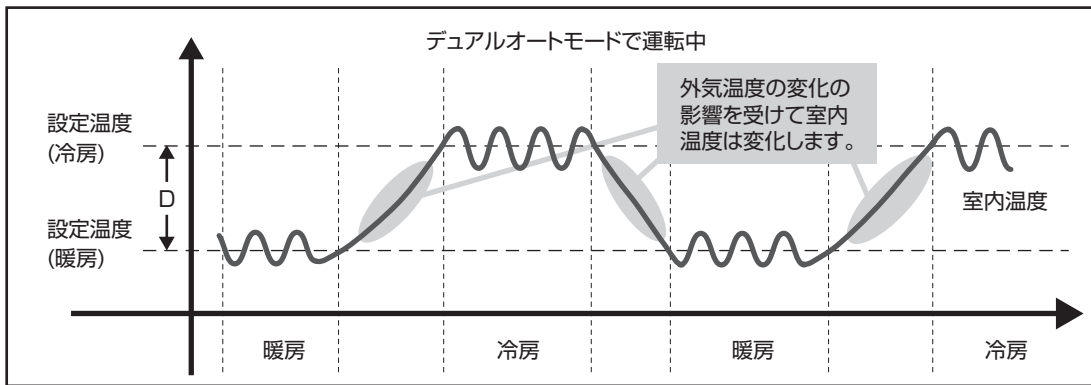
自動運転中に室温が変化し設定温度より1.5℃以上高くなり、その状態が3分以上続くと冷房運転に切り換わります。
 また、1.5℃以上低くなり、その状態が3分以上続くと暖房運転に切り換わります。



●デュアルオートモード

デュアルオートモードでは、2値(冷房・暖房)の温度を設定でき、デュアルオートモード運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り換え、2つの設定温度内に室内温度を維持します。

デュアルオートモードで設定された冷房と暖房の設定温度は冷房/ドライ、暖房モードそれぞれ設定温度の設定に反映されます。
 下図はデュアルオートモードで動作中のユニット動作パターンを示します。

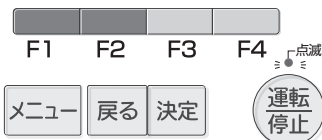
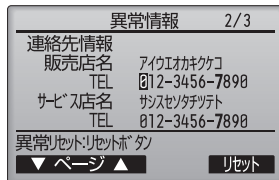
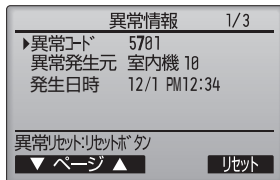


注1)冷房設定温度と暖房設定温度の差(D)の最小値は、接続する室内ユニットにより異なります。
 注2)リモコンや室内ユニットの機種により、デュアルオートモード機能がない場合があります。

その他の表示・点滅について
 自動運転、換気運転のしかた

● 運転のしかた その他の表示・点滅について

● 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合は空調機に障害が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。
 異常内容をご確認の上、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、又は工事店にサービスをお申しつけください。



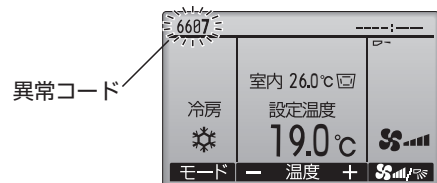
連絡先情報はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。

携帯電話点検コード検索サービスサイトの2次元コードが表示されます。

異常コード、異常発生元、M-NETアドレスが表示されます。
 形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合にのみ表示されます。

[F1] [F2] ボタンで次のページを表示します。

● 「異常コード」のみが点滅している場合(運転ランプは点灯したまま)
 空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
 異常コードをご確認の上、お買い上げの販売店、又は工事店にサービスをお申しつけください。



MAスマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転、省エネ運転の設定ができます。MAスマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、**F2** **F3** ボタンで設定したい項目を選択します。

詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

注)ハイパワー運転、室外サイレントモード設定、省エネ運転スケジュールは、本機種非対応のため使用できません。



タイマー運転

- オン/オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。
- 消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

- 1週間の運転開始/停止時刻と設定温度が設定できます。
- 1日最大8パターンの設定ができます。

省エネ運転

- 設定温度自動復帰
設定時間後に、設定した温度に戻します。
設定時間は10分単位で30分から120分の範囲で設定できます。

お知らせ

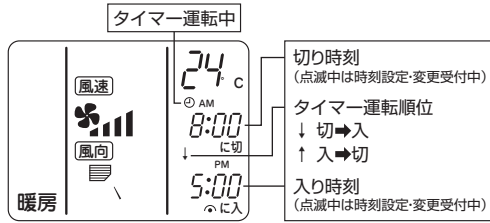
- タイマー運転はワイヤレスリモコンでも設定できます。「タイマー運転のしかた(ワイヤレスリモコンの場合)」の項をご確認ください。週間スケジュール運転、省エネ運転は、ワイヤレスリモコンでは設定できません。

● 運転のしかた タイマー運転のしかた (ワイヤレスリモコンの場合)

タイマー運転の設定は、ワイヤレスリモコンの送信部を室内ユニットの受光部に向けて操作ボタンを押した時、室内ユニットから“ピッ”と音のすることを確認しながら行ってください。



- タイマー運転には次の3つの方法があります。
 - **入タイマー運転** 運転の開始のみをタイマーで行う。
 - **切タイマー運転** 運転の停止のみをタイマーで行う。
 - **入切タイマー運転** 運転・停止の両方をタイマーで行う。
- タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。
- タイマー時刻設定は、10分単位です。



現在時刻の設定を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2 **時計** ボタンを押す。現在時刻が点滅します。
- 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、現在時刻を合わせる。(電池を入れて最初に現在時刻を合わせる時はここから操作してください。)
- 4 **時計** ボタンをもう1回押す。現在時刻が点灯します。(現在時刻合わせの設定完了です。)
 - 設定中に現在時刻が点滅から点灯に変わった時には手順 2 からやり直してください。

入タイマー運転を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2 **入タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、入り時刻と **入** が点灯します。“入”表示が点滅します。
- 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、入り時刻を合わせる。
 - 入タイマー時刻設定後“入”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、入タイマー設定が完了します。
 - エアコンの運転は自動的に停止し、**入り時刻**まで待ちます。
 - 設定中に“入”表示が点滅から点灯に変わった時には**入タイマー** ボタンを押した後、手順 2 からやり直してください。

切タイマー運転を行うとき

- 1 **入切** ボタンを押す。リモコンに表示がでます。
- 2 **切タイマー** ボタンを押す。現在時刻が消灯し、切り時刻と **切** が点灯します。“切”表示が点滅します。
- 3 **時** ボタン・**分** ボタンを押し、切り時刻を合わせる。
 - 切タイマー時刻設定後“切”表示は10秒間点滅して点灯に変わり、切タイマー設定が完了します。
 - 設定中に“切”表示が点滅から点灯に変わった時には**切タイマー** ボタンを押した後、手順 2 からやり直してください。

入切タイマー運転を行うとき

- 1 入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
 - ↑↓表示は↑又は↓どちらかが表示され、
 - ↑は、停止 → 運転(入り時刻) → 停止(切り時刻)
 - ↓は、運転 → 停止(切り時刻) → 運転(入り時刻)を表します。

タイマー運転を解除するとき

- 入タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンを押す。 ●入り時刻が消灯し、入タイマーは解除されます。
- 切タイマー運転を解除するとき **切タイマー** ボタンを押す。 ●切り時刻が消灯し、切タイマーは解除されます。
- 入切タイマー運転を解除するとき **入タイマー** ボタンと **切タイマー** ボタンを押す。 ●入り時刻と切り時刻が消灯し、タイマーは解除されます。
- タイマー運転を解除し、エアコンを停止するとき **入切** ボタンを押す。 ●エアコンは停止します。同時に、設定されていたタイマー運転も解除されます。

お知らせ

- タイマー運転が終了してエアコンが運転又は停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

● 運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

- マルチエアコンではマイコン制御により、お好みの室温に合わせて冷やし過ぎを抑えた除湿運転(ドライ運転)を行います。
- 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。
- 室内ファンは室内ユニットのマイコンで風速の切り換えが行われ、リモコンでは設定できません。
- 運転モード



室温	圧縮機運転3分後		圧縮機運転時間(分)	圧縮機停止時間(分)
	温調信号	室温		
18℃を超える	ON	28℃以上	9	3
		26~27℃	7	3
		24~25℃	5	3
		23℃以下	3	3
18℃以下	OFF	無条件	3	10
圧縮機運転禁止				

1. お好みの室温になるまで…
室内温度の変化に合わせて圧縮機と室内ファンは連動して自動的に運転・停止を繰り返します。
2. お好みの温度になると…
圧縮機・室内ファンとも停止します。10分間停止が続くと湿度を低く保つため、圧縮機と室内ファンを3分間運転します。

温調信号ON 室温が設定温度より高い場合
温調信号OFF 室温が設定温度より低い場合

暖房運転について

- 暖房開始時に風が弱い: 吹出空気が一定の温度に達するまでは、吹出空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り換わります。その間ワイヤードリモコンには“暖房準備中”と表示されます。
- 風速が設定どおりにならない: 室温が設定温度となり、風速は微風となります。
- 風が出ない: ワイヤードリモコンに“暖房霜取中”表示中は風を出しません。
- 運転を停止しても風が出る: 運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排出するために室内ファンがまわる事があります。

上下風向について(リモコン設定)

- 冷房ドライ運転時、下吹出しに設定すると、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。これは上下風向ベーンや吹出口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。繰り返し使用し、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。(10ページ参照)
- PLFY-DM形の場合、ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)設定で冷房・ドライ運転時、水平吹き出しに設定すると、運転状況により自動的に吹き出し角度が一時的に下がることがあります。(これはT-BARや天井材への結露を防止するためです。)

換気連動運転とは

- 室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

使用温度範囲

- 使用温度の範囲からはずれたところで使用すると、機器が異常停止したり、重大な事故の原因となることがあります。

		室内	天井内※1	室外
冷房・ドライ	乾球温度	—	~30℃	-5℃~43℃
	湿球温度	15℃~24℃	~RH80%	—
暖房	乾球温度	15℃~28℃	—	—
	湿球温度	—	—	-20℃~15.5℃
自動	乾球温度	冷房・ドライ/ 暖房と同じ	—	-5℃~20℃
	湿球温度	—	—	-5℃~15.5℃
送風・換気	乾球温度	—	—	—

1. 室内外共に使用可能な湿度の目安は、相対湿度30~80%です。
2. 室外ユニットの使用温度範囲は、室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などご確認ください。
3. 自動運転の運転可能範囲外のサーモON時、送風運転になる場合があります。

※1 壁掛形などの露出タイプは除く。

※2 PLFY-DM形について、ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)を設定する場合は、天井内温度の使用可能範囲は27℃以下です。(27℃、RH80%を越えると、露たれ、故障等の原因となります。)

霜取中とは

- 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きまします。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。
- 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなるので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了すると暖房準備中へと移行します。

もっと知りたいとき

● 運転のしかた 上手な使い方

上手な使い方—“マルチエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

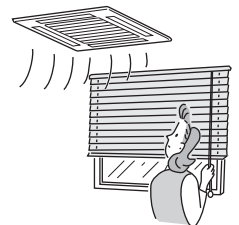
室内温度(室温)は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
- たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。



長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちるため、電力のムダ使いとなります。また、露付・露たれの原因にもなります。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。(21ページ)



中間期にはドライ運転を

- ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感ずることがあります。ドライ運転をご利用ください。



室内の温度ムラ解消に風向調節を

- 冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- 暖房時、足元が寒いのは冷たい空気はが重く、床の近くにたまるためです。下吹出しなどにして風向を調節してください。



ときどき換気を

- 長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- 送風運転は、お部屋の空気を循環させる動きをします。
- 冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をすると、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用するとムダのない換気ができます。



Q 故障かな? **A** お答えします(故障ではありません)

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A

- フィルターの清掃をしてください。(フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです。)
- 温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
- 室外ユニットの周囲空間を広くあげてください。
室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていませんか?
- 窓やドアが開いていませんか?
- 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。

A ■ 十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A ■ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付き、この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。

A

- 冷房運転中、下吹き(水平吹き)で使用するとベーンが自動的に1時間後に水平吹き(下吹き)になります。これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
- 暖房運転中、吹き出し温度が低いとき、又は霜取運転中は自動的に水平吹きになります。
- PLFY-DM形の場合、ドラフト感防止モード(据付工事説明書13ページ参照)設定で、冷房運転中、水平吹き出で使用すると、自動的に吹き出し角度が下がることがあります。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A ■ 温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A ■ エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り換わるときの音です。

Q 風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。

A ■ 風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。

Q 部屋がにおう。

A ■ エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

A

- 室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
- 霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水・水蒸気が出る。

A

- 冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴が滴下するためです。
- 暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
- 霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。

Q リモコンの運転表示が点灯しない。

A ■ 室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか? 電源開閉器を入れてください。

Q 運転ボタンを押したのに運転しない。点灯したリモコンの運転表示が消える。

A ■ 室内ユニットの電源開閉器が切れていませんか? 電源開閉器を入れてください。

Q リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。

A ■ “集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止の操作が禁止となっています。

Q 故障かな? **A** お答えします(故障ではありません)

Q 再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない。

A ■約3分間お待ちください。
(エアコンを保護するため、止まっています)

Q 運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■入タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか?
運転を指示したところへ連絡・確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか?
運転・停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転・停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■切タイマー運転をしていませんか?
運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。
■“集中管理中”の表示が点灯していませんか?
停止を指示したところへ連絡・確認してください。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■タイマー設定が無効になっていませんか?
リモコンのタイマー設定を確認してください。

Q リモコンに“Please Wait”の表示が出る。

A ■初期設定(約3分)を行っているためです。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につきに示す値程高くなります。(SPL値)

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB

Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

A ■乾電池が消耗しています。
乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示が出ない場合は、乾電池の入れ方(+,-)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転表示灯が点滅する。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名を連絡してください。

Q 暖房サーモOFF時及び送風運転時に断続的に温風が出る。

A ■他の室内ユニットが暖房運転をしている場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。
しばらくすると止まります。※小部屋などで室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。

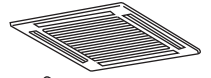
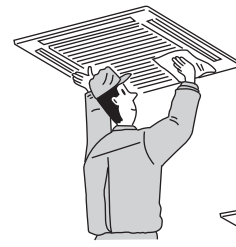
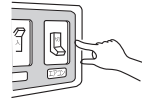
Q 停止中の室内機から冷媒の流れる音がする。又は暖かい空気が流れてくる。

A ■室内機が停止中であっても、他の室内機が暖房運転している場合は、少量の冷媒が流れるためです。

● お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた

お手入れのまえに ■必ず、電源を「切」にしてください。



室内ユニット、リモコンの清掃

- やわらかい布で拭きをしてください。
- 上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。
- 手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用又は洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

お願い

■ 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になることがあります。内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店にご依頼ください。

フィルターの清掃

⚠注意

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切ってください。運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

⚠注意

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用してください。目にゴミ・ほこりが入ることがあります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。

⚠注意

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らないでください。落下・転倒によるケガの原因になります。

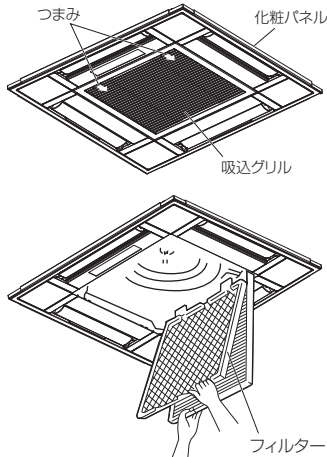
お願い

フィルターをとりはずした状態で運転しないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因になります。

1 フィルターをとりはずす。

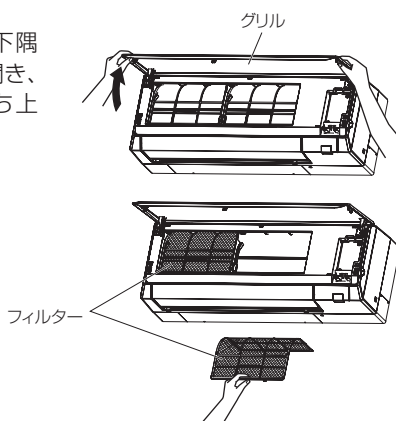
PLFY-DM形

- ① 吸込グリルのつまみを矢印の方向へ引くと、吸込グリルが開きます。
- ② 吸込グリル端面中央のつまみ部を倒し、フィルターを手前に引くと、フィルターがはずれます。



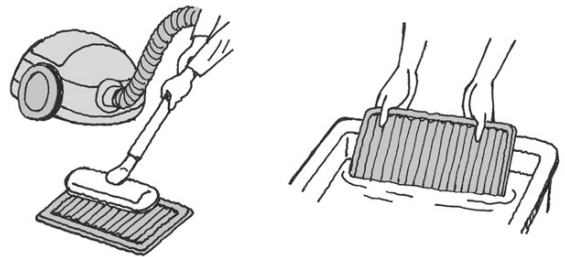
PKFY-LM形

グリルの両方の下隅引いてグリルを開き、フィルターを持ち上げます。



2 フィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を使用量の目安まで溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
- 熱い湯（約50℃以上）で洗わないでください。変形することがあります。



3 水洗いをしたあと、日陰でよく乾かす。

- フィルターは直射日光や直接火にあてて乾かさなでください。

4 フィルターを元どおりに取り付ける。 (とりはずしの逆の手順)

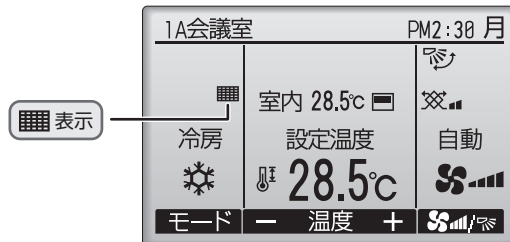
● お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた

フィルター清掃時期

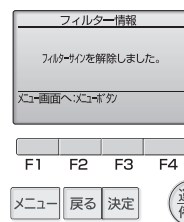
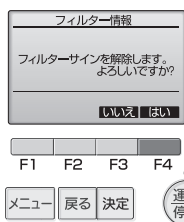
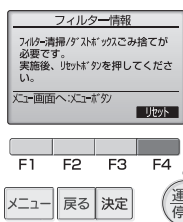
- ワイヤードリモコンの場合は **表示** を点灯させて清掃時期をお知らせします。（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）
- フィルター清掃時期は室内ユニットにより異なります。

室内ユニット	運転時間
PLFY-DM形	2500時間
PKFY-LM形	100時間



表示をリセットする

- 1 『フィルター情報』を表示します。
- 2 **F4** ボタンを押す。
- 3 **F4** ボタンを押す。
- 4 完了画面が表示されます。



- 必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
- 2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットの代表機種（親機）がフィルター清掃時期となった時に“フィルター清掃”が表示されます（ロングライフフィルター：2500時間、一般フィルター：100時間）。表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
注）親機とは、同一グループの中で最もM-NETアドレスの小さい室内ユニットを示します。
- 運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

● お手入れのしかた・困ったときに

長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき
お手入れのしかた

長期間ご使用にならないとき

- 1 4～5時間、送風運転してエアコン内部を乾燥させる。

- 不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。



- 2 エアコンの電源を切る。

- 電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。



再度使い始めるとき

- 下記作業 1～4 の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

- 1 フィルターを清掃して、取り付ける。



- 2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



- 3 アース線がはずれていないことを確認する。室内ユニットにも取り付けられている場合があります。



- 4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



- 5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。（電源を入れる場合は、必ず外気温度が-20℃より高い条件で実施ください。）

⚠️ 注意

アース工事を行う
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

移設・廃棄について

警告

据付けや移設などの場合は冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

警告

当社指定の冷媒(R410A)以外は絶対に封入しない

- 法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書、あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤作動などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になるので、あらかじめ販売店にご相談ください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要です。必ず専門の回収業者に依頼してください。

- 1) この製品は、地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- 2) 冷媒の種類及びGWP(地球温暖化係数)は下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R410A	2090

- 3) 本気が接続されているシステム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンのとりはずし時は、フロン類の回収が必要です。

据付場所について

警告

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据え付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

■次の場所への使用は避けてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなどの火の粉が飛び散るところ。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ(温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など)
- 熱交換器(アルミフィン、銅パイプ)などに腐食を起こすおそれがあります。
- 機械油を使用するところ(加工油を用いプレスや切削をする機械工場など)
- プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。
- 車輻・船舶など移動するものへの設置

■次の環境でご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。(室内ユニット)

- 食用油を使用するところ(厨房など)
 - プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコン又はダクト空調を選定してください。
 - 湿気の多いところ
 - 冷房時に結露しやすくなります。
 - 高周波を発生する機械(高周波ウエルダー、医療機器、通信機器など)を使用するところ
 - 通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。
 - 化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ(美容室など)
 - においが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹き出すことがあります。
- 海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意(室外ユニット)
- 海浜地区など塩分の多いところ
 - 使用を避けるか、耐塩害/耐重塩害仕様室外ユニット(受注品)をお求めください。
 - 積雪の多いところ
 - 室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。(別売)
- 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれの原因になります。

電気工事について

警告

漏電遮断機を取付ける

取り付けていないと、感電の原因になります。

注意

アース工事を行う

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。

他の電気製品と回路を共用すると、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大のもとになります。

● お手入れのしかた・困ったときに

保証とアフターサービス

- 「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
- お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(24ページ参照)へお問い合わせください。
- エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
- ユニット本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の保証はいたしません。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証書

- 室外ユニットに保証書を添付しております。セットでお買上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。
- 保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日又は据付日又は試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- “「故障かな？」と思ったら”(18・19ページ参照)に従ってお調べください。なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は修理に際して、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
 - 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+(出張料)などで構成されています。
 - ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室外ユニットは、保証書に記入してあります。 室内ユニットは、室内製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	〇〇年〇月〇日
4.故障の状況	できるだけ詳しく (リモコンのエラー表示記号なども)
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

- エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。においが発生したり、ゴミやほこりなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れ又は、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータつき機種は、ヒーターにゴミやほこりなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。
- 点検と保全周期の目安【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換又は修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年
補助電気ヒータ		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3.ご使用の環境、ご使用条件によりドレンパンの清掃が必要になる場合があります。

- 上表は次の使用条件が前提となります。**
- ① 頻繁な発停のない、通常の使用条件であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
 - ② 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。
(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)
- また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
 - ② 電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所で使用する場合(許容範囲外での使用はできません。)
 - ③ 振動、衝撃が多い場所に設置され、使用する場合。
 - ④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミストなどの特殊環境下で使用する場合。
 - ⑤ 頻繁な発停がある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)
- 消耗部品の交換周期目安【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	
ロングライフフィルター	1年	5年	
高性能フィルター		1年	
ファンベルト		5,000時間	
平滑コンデンサー		10年	
ヒューズ		10年	
加湿エレメント		3年	
クランクケースヒーター		8年	
オイルフィルターエレメント		随時	油がたれる前に交換

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

保証とアフターサービス

修理窓口・ご相談窓口のご案内 (冷熱品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機ビルソリューションズ株式会社)

●冷熱サービスコールセンター



なやみ いくよ
0570-783-194 (有料)

沖縄地区の冷熱サービスコールの連絡先
(098) 866-1175

FAX

東日本

[北海道・東北・関東甲信越・
静岡県東部(富士川以东)]

(03) 3803-5290

西日本

[中部・静岡県西部(富士川以西)・
北陸・関西・中国・四国・九州]

(06) 6391-8545

パソコン・スマートフォン

<https://www.meltec.co.jp/contact/callcenter>

2次元コードでも簡単に
アクセスできます。



〈IP電話の場合〉

東日本 (03)3803-1194

西日本 (06)6391-8531

※IP電話回線経由の場合に、ナビダイヤルに接続できないことがあります。
その際は、〈IP電話の場合〉の電話番号におかけください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間 (三菱電機システムサービス株式会社)

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル



0120-56-8634 (無料)

携帯電話・PHSの場合



TEL 0570-01-8634 (有料)

パソコン・スマートフォン

www.meltec.co.jp/support/

2次元コードでも簡単にアクセスできます。



FAX 0570-03-8634 (有料)

ご相談窓口 (三菱電機株式会社)

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム

家庭用ルームエアコンおよび、店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは



空調 24時間365日
0120-9-24365 (無料)

365日 24時間 受付

■修理のご依頼

■サービス部品の相談

■技術相談 平日 9:00~19:00

土・日・祝 9:00~17:00

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談〈専用〉

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224 (無料)

〈携帯電話・PHS・IP電話の場合〉 **073-427-2224** (有料)

■電話 平日 9:00~19:00

土・日・祝 9:00~17:00

■ファックス 365日・24時間受付 **0037-80-2229** (無料)

〈IP電話の場合〉 **073-428-2229** (有料)

※IP電話回線経由の場合に、フリーボイスに接続できないことがあります。
その際は、「IP電話の場合」の電話番号におかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

R21A

●PLFY-P・DMG9形

形名	22形	28形	36形	45形
冷房能力 kW	2.2	2.8	3.6	4.5
暖房能力 kW	2.5	3.2	4.0	5.0
電源	単相200V 50/60Hz			
騒音値(SPL):強-中-弱 dB	37-31-28		37-34-30	39-34-30
騒音値(PWL):強-中-弱 dB	53-47-44		53-50-47	55-50-47
風量:強-中-弱 m ³ /min	10-9-8		10-9-8	11-9-8
外形寸法(高さ×幅×奥行) mm	265×570×570			
質量(本体+パネル) kg	15.5+2.5		17+2.5	

●PKFY-P・LMG9形

形名	22形	28形	36形	45形	56形
冷房能力 kW	2.2	2.8	3.6	4.5	5.6
暖房能力 kW	2.5	3.2	4.0	5.0	6.3
電源	単相200V 50/60Hz				
騒音値(SPL):強-中1-中2-弱 dB	35-33-31-29	37-34-32-29	43-39-34-29	41-37-34-30	46-41-36-32
騒音値(PWL):強-中1-中2-弱 dB	51-49-47-45	52-50-48-45	58-54-50-46	57-53-50-47	62-57-53-49
風量:強-中1-中2-弱 m ³ /min	6.5-6.0-5.5-5.0	6.9-6.2-5.6-5.0	8.6-7.4-6.2-5.0	10.1-8.6-7.4-6.2	12.4-10.1-8.3-6.7
外形寸法(高さ×幅×奥行) mm	299×773×237			299×898×237	
質量 kg	11.1			12.8	

